



樹を渡るオランウータンの母子



オランウータン兄弟 (地上へ降りて来た所に人に近づかれて不安そう)

■ マラリア蚊と吸血ヒルに脅えながらの感動

ここは赤道直下のボルネオ島東海岸に近い熱帯雨林。息苦しい位にムシムシしたの森の中を薦や小枝を掻き分けながら歩いていた。自然な環境に棲むオランウータンを撮るために来たのだ。

プーンと羽音を立てながら寄って来て顔や首に止まろうとするマラリア蚊を神経質に払う。血清が有るのでマラリアに掛かっても大丈夫だがやはり怖い。案内役のレンジャーが時々 "Be carefull!" と言いながら頭上の枝を指さす。ヒルが居る。全部ではないが、中に人や動物に吸い付く吸血ヒルが居て、気付かない内に皮膚に深く食い込み痛い目に会う。

今度はレンジャーが口に指を当てて立ち止まる。前方20m位先の樹上から数頭のオランウータンがジッと此方を見ていた。その姿は真にマレー語で言う“森の人”だった!

■ ボルネオ島のオランウータン

属名 *Pongo pygmaeus*。寿命は30歳位で、雌は5～11歳位の間に子供を一頭ずつ生み、5才位まで育てます。



キナバル山 (4100m) のピークの1つ

🌸 撮影メモ

1992年当時、成田からコタキナバルを経由してサンダカンまで2日掛かり(どちらの場所も太平洋戦争の激戦地として名高い)。

コタキナバル上空を通過する時、東南アジア最高峰のキナバル山(4100m)が見えます。

冬場は北東風による雨が多く夏場は雨が少ないそうです。ただ夏場と言えども晴れ間は少なく密林の中なので、薄暗い中での撮影を強いられます。

ボルネオ島(マレーシア/サバ州)の自然保護区にて

1992年8月&1993年5月

●すでに掲載された「写真便り」はこちらにあります……<http://wanli.web.infoseek.co.jp/ookawasan/essey-title.html>

●大川さんのホームページはこちら……<http://www.sgns.gov.cn/scholaweb/conts.htm>

<http://kawamoto1940.web.fc2.com/>

<http://www.sgns.gov.cn/scholaweb/queenvally.htm>